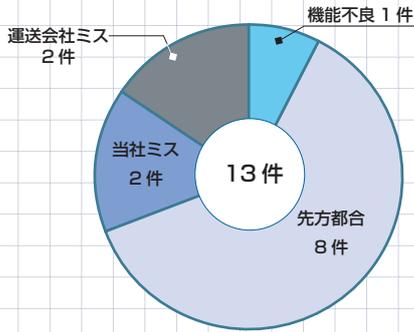


# リポートニュース

令和3年9月号 NO.232

コロナ禍もワクチン効果で一旦は沈静化にむかったものの感染力の強い変異株の出現で新たな広がりを見せています。リノベートパーツの出荷量も非常事態宣言が発令される度に縮小の方向にあります。加速するためにアクセルを踏んでもマフラーがマスクをかけた状態でエンジンの回転数が上がらない状況に似ています。一方で今年のお盆休み期間中の事故車は、中破以下の損傷が多く、ディーラー系钣金工場のモータープールは満車状態とのことです。リノベートパーツの入・出庫バランスの底上げが期待されます。活況のある9月になることを期待しています。

## 8月のクレーム ① 集計報告



## 自社主力商品別クレーム (輸出版売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳
バンパー	0件	0/910	0.0%
フード	0件	0/198	0.0%
フェンダー	0件	0/570	0.0%
ドア・Rゲート	0件	0/187	0.0%
ライト類	1件	1/760	0.13% AFS 作動しない 1件
計	1件	1/2,625	0.03%

## 豆知識 トヨタ ヤリス KSP 210系 グリル中央に付くフロントカメラの有無について

ナンバーが付く部分の真上に丸い穴が開いているのがカメラ用です。



ヤリス Z カメラ付き用



ヤリス Z カメラ無し

※ 画像のグリルはグレード「Z」系でブラック塗装タイプです。G.X系グレードは、素材色(無塗装)タイプとなります。

## 耳より情報

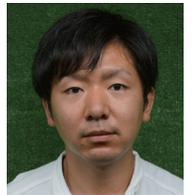
### 運転挙動反映型保険 主要4損保会社に取り扱い拡大

トヨタ自動車は、ドライバーの安全運転度合に応じて保険料の一部を割引く『運転挙動反映型テレマテックス保険』の利用拡大に乗り出した。この保険は、レクサス車に搭載したDCM(車載通信機)から契約車両の走行距離や運転実績を把握し、速度超過や急発進、急ブレーキの頻度が少なければ保険料の一部を割り引くもの。ドライバーに対して安全度合いをスコア化して知らせるほか、事故を起こした際、保険会社が車両挙動を通じて事故の状況を把握し、示談交渉に臨める利点もある。・・なんだか自由なドライブの楽しさを監視されているようで・・なじみませぬね・・。

R3.8.26 日刊自より抜粋

## 新入社員 钣金課 横川社員 (29才)

就職の内定が決まると早速、久喜から岩槻に引越して入社日を迎えるほどのやる気十分の新人です。前職はシヨベルカーの部品の溶接工程を担当、9年間のキャリアの持ち主です。钣金課での技術習得には5年以上の経験が必要ですが、溶接技術で磨いた集中力と粘り強さが大いに役立つものと期待しています。くるまを眺めているだけでワクワクするほどの車大好き人間です。



## 豆知識 ホンダ NBOX JF3 STD系のヘッドライト 前期・後期の相違点

前期	H29.9~R2.12	プロジェクター周りがメッキ
後期	R2.12~	プロジェクター周りがスモークメッキ



前期タイプ



後期タイプ

## 豆知識 トヨタ 30系アルファード 後期 H30.1~エアロ系グレードと R2.5月~タイプSゴールドのヘッドライトの相違点

H30.1~エアロ系グレード	R2.5~タイプSゴールド(特別仕様車)
3眼フルLEDタイプ + シーケンシャルターンランプ + メッキパネル + インナーブラックエクステンション(裏面シールの印字ハ)	3眼フルLEDタイプ + シーケンシャルターンランプ + スモークメッキパネル + インナーブラックエクステンション(裏面シールの印字ナ)



エアロ系グレード



タイプSゴールド



エアロ系グレード印字ハ

## 思わぬ贈り物

昨年、徒歩で四国巡礼の旅を終え郷里の宮崎県に戻ってからしばらく音信が途絶えていた久保田氏。これから農業を始めるとは聞いていたものの趣味程度のことだろうと考えていたが、農業法人を立ち上げた本格的な農業参入とはびっくりです。送られてきた新米は、合鴨による無農薬栽培で収穫したとの事、よく噛みしめてごちそうになります。



## ほっと一息 コーヒータイム

父が亡くなってからしばらく経ったある日、父の元の勤め先から会報が送られてきた。ページをめくると、父の追悼が特集されていたので驚いた。文化建造物の保存修復仕事を統括していた父。ほとんど出張ばかりで、仕事のことはほとんど語らなかった父だが、追悼文には、在りし日の父の姿が後進の皆さんの追悼文に描かれていた。『建物の声によく耳を澄ませることだ』と父は悩んでいる後輩によく説いていた。『最初は聞かないかも知れないけど辛抱強く耳を澄ましていると、そのうちうるさいほど喋るようになる。そうになったら一人前だ』。この言葉をよんで、仕事に向き合う父の姿勢が分かったような気がした。家庭では理想の父とはいかなかったようだが、代わりに多くの後輩を育てていたと思うと、どこか誇らしい気持ちになった。

R3.8.24 日刊自 霧灯 から抜粋